

平成30年度 第2回 監査委員会 議事録

開催日時 平成31年3月28日(木) 午後5時00分～午後7時00分

場所 杏林大学医学部附属病院会議室B(第2病棟2階)

出席者

委員長	窪川 良廣	(くぼかわ内科医院院長、三鷹市医師会理事)
委員	大瀧 純一	(学校法人杏林学園理事、杏林大学長)
	齊藤 浩司	(三鷹市健康福祉部 保健医療担当部長)
	橋本 雄太郎	(杏林大学大学院国際協力研究科客員教授)
	山口 育子	(認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長)
オブザーバー	市村 正一	(杏林大学医学部附属病院病院長)
	正木 忠彦	(杏林大学医学部附属病院副院長、医療安全管理部長)
	大荷 満生	(杏林大学医学部附属病院医療安全推進室長)
	篠原 高雄	(杏林大学医学部附属病院薬剤部長、医薬品安全管理責任者)
	田村 勝彦	(杏林大学医学部附属病院医療安全推進室専従薬剤師)
	北原 るり子	(杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー)
	古田 志津江	(杏林大学医学部附属病院専任リスクマネージャー)
	山崎 昭	(杏林大学医学部附属病院医療安全管理部調査役)
	中野 貴仁	(杏林大学医学部附属病院医療安全管理部課長)
	高野 智博	(杏林大学医学部附属病院医療安全管理部係長)
	佐伯 杏奈	(杏林大学医学部附属病院医療安全管理部事務員)
事務局	小塩 秋彦	(杏林学園総務部副部長)
	駒形 周一郎	(杏林学園総務課課次長)

議 題 医療安全管理体制の現状、医療安全推進のための活動状況

監査項目 インシデントレポート報告状況(医師の報告件数)、医学部学生への医療安全教育、講習会確認テストの改善、画像診断報告書の未読防止の取組、医療安全相互ラウンドの実施報告、医療安全推進週間の取組、臨床的倫理問題検討委員会・病院倫理委員会の体制、その他

監査結果・委員からの講評

1. 医師のインシデントレポート報告は増加している。研修医のインシデントレポート報告の増加も期待したい。学生時代から意識を高めるよう引き続き努めていただきたい。
2. 講習会の確認テストは、正答率100%を目指して取り組んでいただきたい。
3. 医療安全相互ラウンドでは、ラウンド先の良いところは積極的に取り入れていただきたい。
4. 画像診断報告書の未読防止のシステムは非常に良い。運用結果に期待したい。
5. 同意書取得の際には、どのような説明を行って同意を得たのかを電子カルテに記載する必要があると考えられる。
6. 倫理に関する問題の対応では、医師だけではなく多職種のチームで取り組むことが重要である。